

第3回自主活動企画

“幻のグルジア映画を見よう！”

Чебу Салон (チェブサロン) がお送りする第3回自主活動企画として“幻のグルジア映画を見よう！”を開催いたします。

今回は 1984 年に旧ソ連で製作された『懺悔 (REPENTANCE)』を上映します。この映画は 1987 年カンヌ国際映画祭審査員特別賞を受賞しました。いかがですか？一緒に楽しみましょう！！

作 品 : 『 懺 悔 (REPENTANCE) 』

(映画解説があります)

日 時 : 10月 1日 (土) 午後1:00開場 午後1:30 ~ 4:30上映・解説

場 所 : 神戸市勤労会館 (三宮) 404号室 (下記参照)

会 費 : 会員500円・会員以外700円 (コーヒー付き)

申し込み : hnrk2@hi-net.zaq.ne.jp 9月 26日 (月) まで

メールを使えない方のみ

080-1516-6693 (ロシア協会)

(電話受付期間) 9月 26日 (月) まで 受付時間 10:00~18:00

主 催 : 兵庫県日本ロシア協会 Чебу Салон (チェブサロン)

『懺悔 (REPENTANCE)』について

《内 容》 ある時、人々に熱烈な支持を受けていたある町の市長ヴァルラム。彼の死後、埋葬された墓から毎晩死体が掘り起こされるという冒瀆的事件から物語が始まる。やがて逮捕された「意外な」犯人が法廷で語ったエピソードから、独裁者ヴァルラムの狂気に翻弄された家族の悲劇が明るみになってゆく……。グルジアは、1930年代に数百万人を粛清で死に追いやったスターリンの故郷でもあり、この映画はソビエト政権末期、独裁体制を告発するものとして改革を求める人々に受け入れられた。厳しい検問を免れるために監督が行った工夫とは？単なる独裁者の告発にとどまらない普遍的メッセージとは？

《監 督》 テンギズ・アブラゼ

《製 作》 1984年 ソビエト連邦

《上映時間》 153分



神戸市勤労会館 (左図☆印)

住 所 : 神戸市中央区雲井通5丁目1-2

電話番号 : 078-232-1881

